

# 平成22年度 第3四半期決算の概要

1 新契約の状況	1ページ	5 資産運用の状況	5ページ
2 保有契約の状況	2ページ	6 基礎利益の状況	7ページ
3 損益の状況	3ページ	7 健全性の状況	8ページ
4 資産・負債の状況	4ページ		

株式会社 かんぽ生命保険  
平成23年2月10日

# 1 新契約の状況

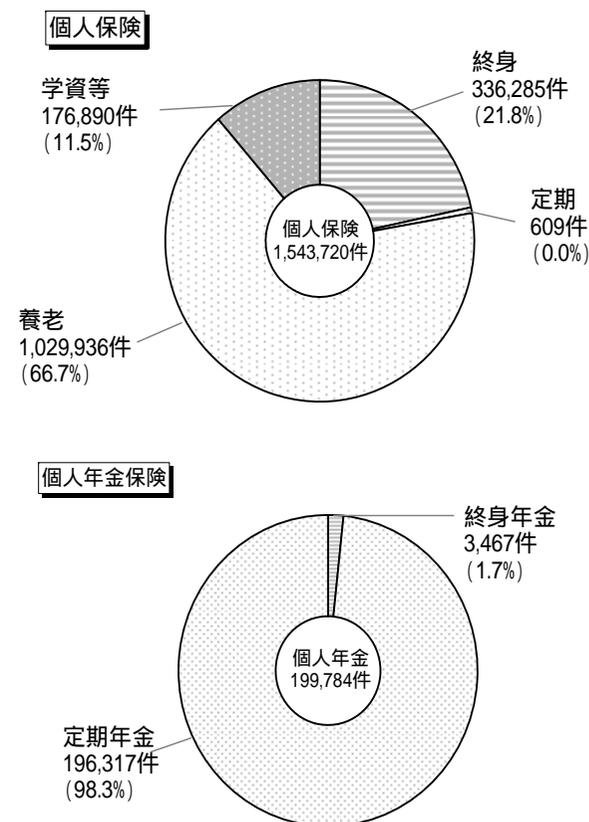
平成22年度第3四半期累計期間の新契約は、個人保険が154万4千件、金額4兆4,182億円、個人年金保険が20万件、金額6,843億円となりました。

(単位未満四捨五入)

(単位:件、百万円)

	平成22年度第3四半期累計期間新契約 (平成22年4月～平成22年12月)		平成21年度第3四半期累計期間新契約 (平成21年4月～平成21年12月)	
	件数	金額	件数	金額
個人保険	1,543,720	4,418,222	1,544,048	4,462,993
普通終身	216,791	742,887	280,120	965,310
定額型	45,716	116,900	40,638	100,218
倍型	171,075	625,986	239,482	865,092
特別終身	119,493	367,315	104,776	313,734
介護終身	1	3	57	196
普通定期	609	1,393	721	1,596
普通養老	690,788	1,791,874	608,971	1,518,247
特別養老	322,097	1,312,089	357,136	1,465,342
特定養老	17,051	16,802	13,869	13,073
学資保険	176,884	185,814	178,151	184,297
上記以外	6	46	247	1,199
個人年金保険	199,784	684,257	166,319	561,386
終身年金	3,467	27,908	3,965	30,529
定期年金	196,317	656,349	162,354	530,857

平成21年度新契約 (平成21年4月～平成22年3月)	
件数	金額
2,047,392	5,909,077
353,858	1,220,388
53,535	132,969
300,323	1,087,418
137,485	414,244
84	285
915	2,031
825,207	2,078,166
468,733	1,924,130
18,684	17,749
242,078	250,393
348	1,692
216,973	735,294
5,215	40,881
211,758	694,413



## 2 保有契約の状況

平成22年度第3四半期末のかんぽ生命の保有契約は、個人保険573万件、金額1兆6千3億円、個人年金保険65万件、金額2兆1千億円となっております。

また、独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構から受再している契約は、保険3,668万件、保険金額1兆2千2億円、年金保険498万件、年金額1兆8千億円となっております。

【参考】受再している簡易生命保険の契約状況

(単位:未満四捨五入)

(単位:件、百万円)

(単位:件、百万円)

	かんぽ生命の保有契約			
	(保険者:株式会社かんぽ生命保険)			
	平成22年12月末		平成22年3月末	
	件数	金額	件数	金額
個人保険	5,727,504	16,317,264	4,342,642	12,343,194
普通終身	854,413	2,890,842	667,048	2,252,618
定額型	141,948	350,746	99,709	242,313
倍型	712,465	2,540,096	567,339	2,010,305
特別終身	372,742	1,112,125	261,611	769,350
介護終身	166	535	172	557
普通定期	2,334	9,020	1,895	6,674
普通養老	2,402,679	6,041,623	1,772,381	4,431,208
特別養老	1,296,225	5,339,522	1,015,584	4,207,694
特定養老	55,641	64,749	40,225	41,721
学資保険	742,595	855,795	582,944	629,890
上記以外	709	3,052	782	3,482
個人年金保険	649,611	2,116,060	455,285	1,506,087
終身年金	13,912	110,395	11,107	87,785
定期年金	635,686	2,005,576	444,164	1,418,203
夫婦年金	13	89	14	99

	簡易生命保険の保有契約					
	(保険者:独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構)				(保険者:日本郵政公社(当時))	
	平成22年12月末		平成22年3月末		平成19年9月末	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
保険	36,684,132	102,190,231	40,308,140	112,069,407	55,179,692	152,298,879
普通終身	5,130,885	11,671,398	5,310,240	12,060,059	6,037,550	13,700,659
定額型	2,162,051	4,972,150	2,205,112	5,073,125	2,367,177	5,456,120
倍型	880,767	2,531,910	925,953	2,675,995	1,168,631	3,451,588
特別終身	5,751,241	13,852,874	5,923,508	14,187,840	6,577,000	15,478,932
介護終身	8,557	27,149	8,794	27,865	9,518	30,130
普通定期	5,933	28,126	7,296	34,723	12,607	59,300
普通養老	10,262,627	25,159,656	12,062,748	29,578,805	19,264,113	47,243,499
特別養老	7,825,550	36,242,833	8,484,424	39,345,359	11,324,192	52,441,371
特定養老	128,858	234,496	157,271	284,411	173,112	314,368
学資保険	6,342,381	11,706,143	6,818,761	12,660,889	8,869,136	16,393,243
上記以外	1,228,100	3,267,556	1,535,098	3,889,456	2,912,464	6,637,377
年金保険	4,982,560	1,844,468	5,361,038	1,980,354	6,562,824	2,404,505
終身年金	1,354,384	427,457	1,372,941	433,386	1,433,711	453,443
定期年金	3,498,528	1,381,400	3,857,866	1,511,206	4,997,338	1,914,874
夫婦年金	129,550	35,609	130,133	35,759	131,666	36,186

(注)簡易生命保険契約の計数については、管理機構及び郵政公社における公表基準によるものです。そのため、かんぽ生命契約と簡易生命保険契約については、単純に比較することができません。

### 3 損益の状況

平成22年度第3四半期累計期間は、経常収益10兆2,493億円、経常費用9兆8,754億円、経常利益3,738億円となりました。

経常利益に、特別損益として価格変動準備金戻入額87億円等を加え、契約者配当準備金として2,763億円を繰り入れた結果、税引前四半期純利益は1,061億円となり、四半期純利益は675億円となりました。

	平成22年度 第3四半期累計期間 (22.4.1~22.12.31)	平成21年度 第3四半期累計期間 (21.4.1~21.12.31)	差額	平成21年度 (21.4.1~22.3.31)
経常収益	102,493	105,641	3,147	145,916
保険料等収入	55,678	56,115	436	75,056
資産運用収益 (注1)	12,565	12,578	13	16,659
その他経常収益	34,249	36,947	2,697	54,201
支払備金戻入額	2,231	2,367	136	338
責任準備金戻入額	31,960	34,563	2,603	53,841
経常費用	98,754	102,642	3,888	142,120
保険金等支払金	93,479	97,528	4,049	135,239
責任準備金等繰入額 (注2)	136	166	29	214
資産運用費用 (注3)	586	293	292	311
事業費	3,960	4,044	84	5,492
経常利益	3,738	2,998	740	3,796
特別利益 (注4)	87	231	143	251
特別損失	1	0	1	0
契約者配当準備金繰入額	2,763	2,301	461	2,943
税引前四半期純利益	1,061	927	133	1,103
法人税等合計	385	336	49	402
四半期純利益	675	590	84	701

(単位:億円(単位未満切捨))

注1 資産運用収益は、利息及び配当金等収入11,869億円、有価証券売却益640億円、金銭の信託運用益52億円等です。

注2 責任準備金等繰入額は、契約者配当金積立利息繰入額136億円です。

注3 資産運用費用は、有価証券評価損320億円、有価証券売却損229億円等です。

注4 特別利益は、保険業法施行規則で定める積立限度額を超過したことに伴う価格変動準備金戻入額87億円等です。

勘定科目のうち主要な科目について掲載しております。

## 4 資産・負債の状況

総資産は、平成21年度末比3兆5,590億円減少し、9兆7,107億円となりました。

純資産は、利益剰余金、その他有価証券の含み益が増加したことにより、1兆2,328億円となりました。

		平成22年度 第3四半期末 (22年12月31日)	平成21年度末 (22年3月31日)	差額 -
<b>資産</b>		974,107	1,009,697	35,590
	現金及び預貯金	8,215	22,878	14,663
	金銭の信託	2,321	1,750	571
	有価証券	780,124	803,415	23,290
	国債	650,708	676,176	25,467
	地方債	57,429	51,281	6,147
	社債	65,151	69,375	4,223
	外国証券	6,835	6,581	253
	貸付金 (注1)	154,688	162,605	7,916
	有形固定資産	928	992	64
	繰延税金資産 (注2)	2,284	1,916	367
<b>負債及び純資産</b>		974,107	1,009,697	35,590
	<b>負債</b>	961,779	998,004	36,225
	保険契約準備金	938,187	972,268	34,080
	退職給付引当金	569	541	28
	価格変動準備金	4,126	4,214	87
	<b>純資産</b>	12,328	11,693	634
	資本金	5,000	5,000	-
	資本剰余金	5,000	5,000	-
	利益剰余金	1,767	1,267	500
	その他有価証券評価差額金	560	425	134

(単位:億円(単位未満切捨))

注1 貸付金は、機構貸付150,262億円、一般貸付4,346億円、保険約款貸付79億円です。

注2 繰延税金資産は、責任準備金1,470億円、支払備金488億円等の将来減算一時差異に係るものです。

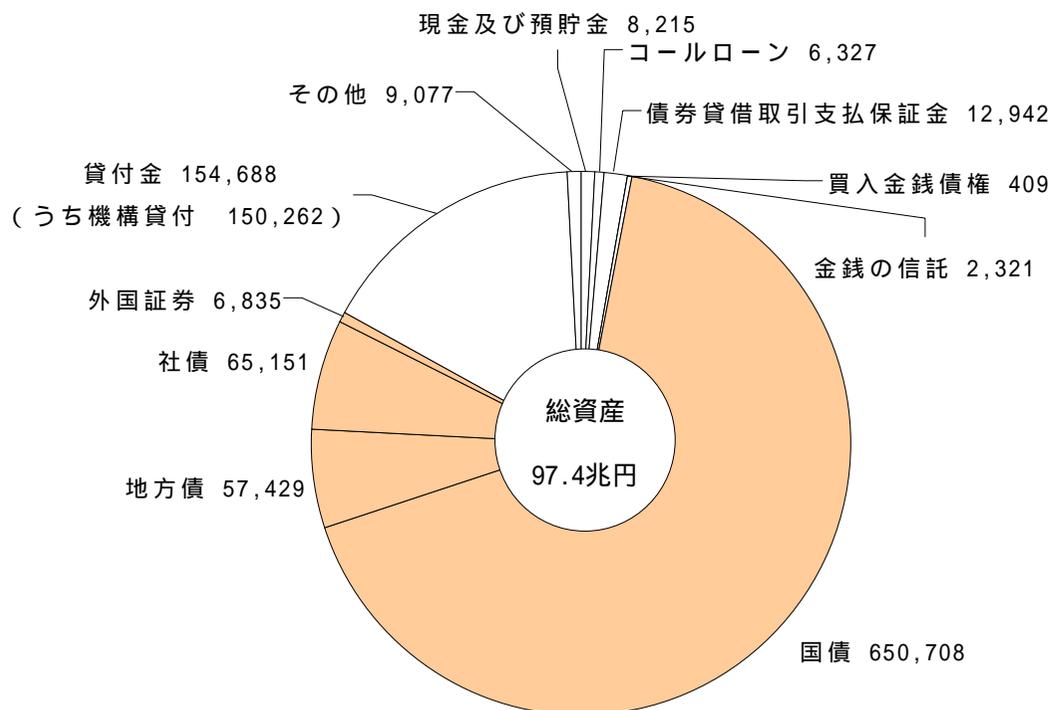
勘定科目のうち主要な科目について掲載しております。

# 5 資産運用の状況

かんぽ生命の資産運用は、国債を中心とした有価証券が78兆円、貸付金が15兆円等で平成22年度第3四半期末の残高は、97兆4千億円となっております。

## 1 資産構成

(単位:億円)



## 2 資産残高

	平成22年度 第3四半期末 (22年12月31日)	平成21年度末 (22年3月31日)	平成20年度末 (21年3月31日)	平成19年度末 (20年3月31日)	事業開始時 (19年10月1日)
資産 残高	97.4兆円	100.9兆円	106.5兆円	112.5兆円	113.7兆円

## 3 運用利回り

	平成22年度 第3四半期累計期間 (22.4.1~22.12.31)	平成21年度 (21.4.1~22.3.31)	平成20年度 (20.4.1~21.3.31)
運用利回り	1.61%	1.58%	1.15%

注 運用利回りは、キャピタル損益等を含めた利回りです。

## 5 資産運用の状況

満期保有目的の債券及び責任準備金対応債券を含めた有価証券全体では3兆223億円の含み益となっております。  
 その他有価証券では878億円の含み益となっております（税効果適用後は560億円）。

### 4 含み損益の状況

	平成22年度第3四半期末 (22年12月31日)		平成21年度末 (22年3月31日)	
	帳簿価額	含み損益 (税効果適用前)	帳簿価額	含み損益 (税効果適用前)
<b>合 計</b>	<b>78兆8,393億円</b>	<b>3兆 223億円</b>	<b>81兆3,504億円</b>	<b>1兆9,664億円</b>
満期保有目的の債券	40兆7,938億円	1兆7,246億円	37兆6,328億円	1兆 38億円
責任準備金対応債券	30兆9,460億円	1兆2,097億円	36兆2,686億円	8,958億円
その他有価証券	7兆 994億円	(注1) 878億円	7兆4,489億円	(注2) 667億円
有価証券等	6兆8,707億円	843億円	7兆2,856億円	550億円
金銭の信託	2,286億円	35億円	1,633億円	117億円

注1 税効果適用後の金額は、560億円になります。

注2 税効果適用後の金額は、425億円になります。

### 5 金銭の信託で保有する株式の含み損益がゼロになる株価水準

	平成22年度 第3四半期末 (22年12月31日)	平成21年度末 (22年3月31日)	平成20年度末 (21年3月31日)	平成19年度末 (20年3月31日)	事業開始時 (19年10月1日)	公社閉鎖時 (19年9月30日)
日経平均株価	10,000円	8,900円	8,200円	14,500円	16,785円	9,800円

(参考) 日経平均株価、円相場、円金利(10年国債)の推移

	平成22年度第3四半期末 (22年12月31日)	平成21年度末 (22年3月31日)	平成20年度末 (21年3月31日)	平成19年度末 (20年3月31日)	公社閉鎖時 (19年9月30日)
日経平均株価	10,228円	11,089円	8,109円	12,525円	16,785円
円ドル	81.49円	93.04円	98.23円	100.19円	115.43円
円ユーロ	107.90円	124.92円	129.84円	158.19円	163.38円
円金利(10年国債)	1.110%	1.395%	1.340%	1.275%	1.675%

## 6 基礎利益の状況

平成22年度第3四半期累計期間（平成22年4月～平成22年12月）の基礎利益は4,004億円となりました。逆ざやが1,182億円発生しておりますが、死亡率・入院率の低下等による利益である「危険差益」、事業の効率化による利益である「費差益」によりカバーされ、三利源を合計した基礎利益はプラスとなっているものです。平均予定利率は1.95%で、利子利回り1.77%との差は0.18%です。

### 基礎利益の内訳（三利源）

	平成22年度第3四半期累計期間 (22.4.1～22.12.31)	平成21年度第3四半期累計期間 (21.4.1～21.12.31)	差額（ - ）	平成21年度 (21.4.1～22.3.31)	平成20年度 (20.4.1～21.3.31)
基礎利益	4,004億円	3,400億円	604億円	4,271億円	4,324億円
（内訳）危険差益	2,931億円	2,645億円	285億円	3,247億円	3,545億円
費差益	2,255億円	2,722億円	467億円	3,386億円	4,316億円
利差益（逆ざや）	1,182億円	1,968億円	786億円	2,362億円	3,537億円

### （参考） 基礎利益上の平均予定利率

	平成22年度第3四半期累計期間 (22.4.1～22.12.31)	平成21年度第3四半期累計期間 (21.4.1～21.12.31)	差（ - ）	平成21年度 (21.4.1～22.3.31)	平成20年度 (20.4.1～21.3.31)
平均予定利率（注1）	1.95 %	1.99 %	0.04 %	1.99 %	2.03 %
利子利回り（注2）	1.77 %	1.71 %	0.06 %	1.73 %	1.66 %

注1 平均予定利率は、予定利息の経過責任準備金に対する利回りのことです。

経過責任準備金は危険準備金を除いた責任準備金により次の式で計算しています。（期始責任準備金＋期末責任準備金－予定利息）×1/2

注2 利子利回りは、基礎利益上の運用収支（キャピタル損益を含まない運用収支）等の経過責任準備金に対する利回りのことです。

# 7 健全性の状況

平成22年度第3四半期末では、危険準備金2兆9,877億円及び価格変動準備金4,126億円を合わせた3兆4,003億円を内部留保として積み立てております。  
また、逆ざや等を補填するための追加責任準備金を6兆3,244億円積み立てております。

## 1 内部留保の積立状況

	平成22年度第3四半期末 (22年12月31日)	平成21年度末 (22年3月31日)	平成20年度末 (21年3月31日)	平成19年度末 (20年3月31日)	事業開始時 (19年10月1日)
危険準備金	2兆9,877億円	2兆9,506億円	2兆8,862億円	3兆762億円	3兆3,162億円
限度額(充足率)	3兆454億円 (98%)	3兆1,623億円 (93%)	3兆3,588億円 (86%)	3兆5,690億円 (86%)	3兆5,305億円 (94%)
価格変動準備金	4,126億円	4,214億円	4,465億円	5,590億円	6,725億円
限度額(充足率)	4,126億円 (100%)	4,214億円 (100%)	4,465億円 (100%)	5,590億円 (100%)	6,626億円 (101%)
内部留保合計	3兆4,003億円	3兆3,720億円	3兆3,328億円	3兆6,352億円	3兆9,887億円

## 2 追加責任準備金の積立状況

	平成22年度第3四半期末 (22年12月31日)	平成21年度末 (22年3月31日)	平成20年度末 (21年3月31日)	平成19年度末 (20年3月31日)	事業開始時 (19年10月1日)
追加責任準備金	6兆3,244億円	6兆5,400億円	6兆8,504億円	7兆1,925億円	7兆3,779億円

## 3 実質純資産

	平成22年度第3四半期末 (22年12月31日)	平成21年度末 (22年3月31日)	平成20年度末 (21年3月31日)	平成19年度末 (20年3月31日)	事業開始時 (19年10月1日)
実質純資産	(注) 7兆7,759億円	6兆5,987億円	6兆2,036億円	6兆131億円	(注) 4兆7,303億円

## 4 ソルベンシー・マージン比率

注 保険業法施行規則等の規定に準じて、当社が合理的と判断する方法で算出しております。

	平成22年度第3四半期末 (22年12月31日)	平成21年度末 (22年3月31日)	平成20年度末 (21年3月31日)	平成19年度末 (20年3月31日)	事業開始時 (19年10月1日)
ソルベンシー・マージン比率	(注) 1,869.8%	1,663.9%	1,429.7%	1,116.3%	(注) 1,117.9%

注 保険業法施行規則等の規定に準じて、当社が合理的と判断する方法で算出しております。